

大いちょう

平成29年7月3日 第4号

学校教育目標

学びあい
励ましあい
高めあい



3つの「あい」

校長 戸村達男

失敗から学ぶ

授業中などに校内を回っていると、いろいろな場面を見かけます。

音ひとつ立てずに静かに自習をしている6年生、さすがです。

赤くなったミニトマトを手に「おうちでお母さんと食べるんだ。」と、うれしそうに見せてくれる2年生。ご家庭での様子が目に浮かびます。

プールで、冷たいシャワーに歓声（悲鳴？）をあげる子どもたち。とってもうれしそうです。

時には、子どもたちが担任の先生に指導されている場面にも出くわします。そんな時、私は黙って見守りながら、心の中では「がんばれ。失敗は誰にでもある！」と励ましています。

失敗は誰にでもあります。誰だって間違えることはあります。大人だって失敗するので、小学生の子どもたちが失敗するのは当たり前です。

そして、失敗することは決して悪いことではありません。人は失敗から学んで成長していくからです。

「今度はこうやったらうまくいくかなあ。」	次へのチャレンジへ、つながります。
「失敗しないためにどうすればいいかな。」	失敗しないための方法を編み出します。
「だいじょうぶ。僕だって失敗したから。」	人の失敗に寛容になります。
「今度はうまくいったぞ。」	失敗を乗り越えた経験が自信になります。
「やってみた結果だから失敗は仕方ない。」	後悔はしませんね。

私たち大人も、失敗に対しての考え方を変える必要があるのではないのでしょうか。

失敗しないように、すべて大人がお膳立てをしてあげることが考えものかもしれません。親であれば、教師であれば、誰でも自分の子どもに失敗させたくはありません。でも、大人が何でもかんでも教えて、たとえ成功しても、子どもたちは、なぜ成功したのかわからないままです。この成功は次につながりませんし、成功した喜びも充実感も、あまり感じないことでしょう。

「最近の子どもたちは、失敗を恐れて挑戦しなくなった」という論調をよく耳にします。でも、子どもたちを嘆くより、「失敗を恐れて」いるのでなく、「失敗をしたことを怒られることを恐れている」のかなと、大人の対応の仕方を反省しましょう。

「自分でやるから黙って！」と何でも自分でやりたがる子。これって、我がままで手のかかる子ではなく、チャレンジ精神旺盛な、すごい才能の持ち主なのかもしれません。

京セラやKDDIを創業した稲盛和夫氏はこう言っています。「世の中に失敗というものはない。チャレンジしているうちは失敗はない。あきらめた時が失敗である。」

小手指小学校は「学びの場 成長の場」です。自分の力で考え、やってみようというチャレンジ精神を子どもたちが大いに発揮し、失敗を糧にして成長できるよう、精一杯子どもたちを応援していきます。

がんばりました 所沢市内硬筆展

【推薦】(県展へ)

1年生 3年生 4年生
5年生 6年生

【入選】

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生



3年生 片居木園見学



6月16日 芸術鑑賞教室 【東京混声合唱団の素敵なコンサートでした】

HP (ホームページ) もぜひご覧ください

本校では、子どもたちの活躍や学校の様子を紹介するために、担当している教頭や担当教諭を中心に、HPの充実に力を入れています。現在は「修学旅行」「芸術鑑賞教室」「にこにこラリー」等の情報をトップページに、そしてこの「大いちょう」もご覧になれます。ぜひHPもご覧ください。(目標12000アクセス!!)

メール配信について

メール配信システムについては、何度も登録のお手数をおかけして申し訳ありません。新しいシステムのテスト配信を7月3日の10:00に行いました。メールが届かない等のご相談は教頭までお願いします。また、まだ登録なさっていない方はできる限りご登録くださるようお願いいたします。



【6月21日 児童会行事 にこにこラリー】
縦割り班でなかよく楽しみました

6月11日に「わんぱく相撲大会」所沢場所が開催され、小手指小からも多くの児童が参加してくれました。がんばったちびっこ力士、そして育成会の役員の皆様、ありがとうございました。